

登録コード	HM130800	開講年度	2026				
授業題目	救急集中治療医学特別研究					担当教員	今村 浩 他
英文授業名	Research Thesis in Emergency and Intensive Care Medicine					副担当	高山 浩史・問田 千晶
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年次
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					・救急集中治療医学における種々の課題を抽出し、それに対して必要な資料を自ら検索し、考察することができる。	
(2)詳細/Detailed information	小児から高齢者に至る救急患者の緊急度と重症度を理解し、適切なトリアージと初期診療を行うためには系統的だったアプローチをいかに行うか、病態生理学的変化に応じて、一般臨床より一段深い考察を行う。						
(3)授業の概要/Overview of course	重症救急患者の救命救急法、生命維持科学、全身管理法に関する研究の実践、指導を行い、生命維持科学について論文指導を行う。						
(4)授業計画/Course plan	(今村 浩) 急性臓器不全の病態解析、重症循環不全を研究課題とし、循環不全に対する新規治療法の開発に関する研究指導を行う。 (問田千晶) 急性呼吸不全、重症敗血症の病態解析、脳心肺蘇生、体外式心肺補助法、急性血液浄化法を研究課題とし、救急・重症患者のエマージェンシー・クリティカルケアに関する研究指導を行う。 (高山浩史) 病院全救急医療システム、災害医療システムを研究課題とし、ドクターヘリやドクターカーを利用した新しい病院前救急医療システムの開発、新しい災害医療システムに関する研究指導を行う。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	作成論文による評価 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば(秀)。(i) から (v)の5項目を満たしていれば(優)。4項目までできていれば(良)。3項目までできていれば(可)						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	自発的な論文検索、科学的思考を期待します。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	E mailにて受け付けます。						
(8)授業の形式/Course format	演習						